

新興国レポート

# 中国の対米黒字額が過去最高を記録

## 「第一段階」合意の実現に向けた中国の動向が注目される

- ✓ 中国の2020年7~9月の対米黒字額が、四半期ベースで過去最高を記録。新型コロナウイルス関連を中心に輸出が大きく増加する一方、輸入は伸び悩み。
- ✓ 中国の2020年1~9月対米輸入額は、米中貿易交渉を巡る「第一段階」合意の基準年2017年の同期を2割下回る。対米輸入の増加及び対米黒字額縮小に向けた中国の取り組みが注目される。

### (1) 対米黒字額が過去最高を記録

- 中国税関総署の貿易統計によると、2020年7~9月の対米黒字額は974億ドル（約10.2兆円）となり、2018年10~12月の972億ドルを抜き、四半期ベースで過去最高を記録しました。対米黒字額は、2018年7月に始まった米中双方による関税の掛け合いで、2020年1~3月に6年半ぶりの低水準となる407億ドル（約4.3兆円）に減少したものの、7~9月はその約2.4倍に拡大しました（図表1）。不織布マスク等の医療用品の他、リモートワーク需要の拡大によるタブレット端末等、新型コロナウイルス関連を中心に輸出が大きく増加する一方、輸入が伸び悩んだことが影響しています。

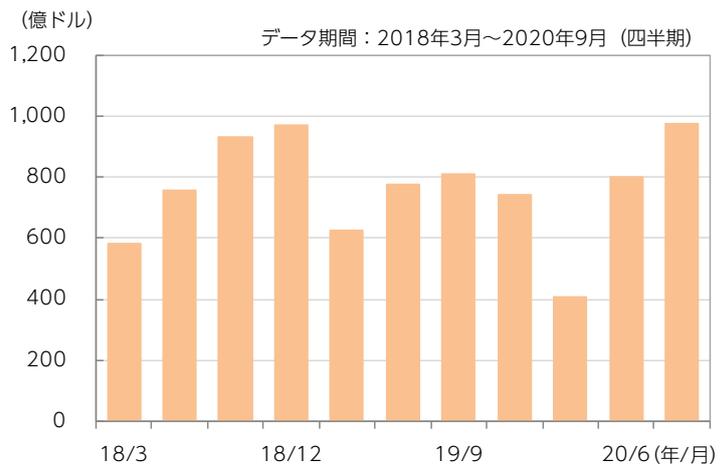
### (2) 新型コロナウイルス関連の対米輸出が急増

- 2020年7~9月の対米輸出額は1,325億ドル（約13.9兆円）と、1~3月の約2倍に増加しました（図表2）。新型コロナウイルス関連の輸出増が全体を押し上げています。一方、7~9月の対米輸入額は350億ドル（約3.7兆円）と1~3月を上回ったものの、増加率は約30%と、輸入額に占める割合が相対的に大きい大豆（図表3）等の輸入低迷により、輸出に比べ小幅な伸びに留まっています（図表2）。

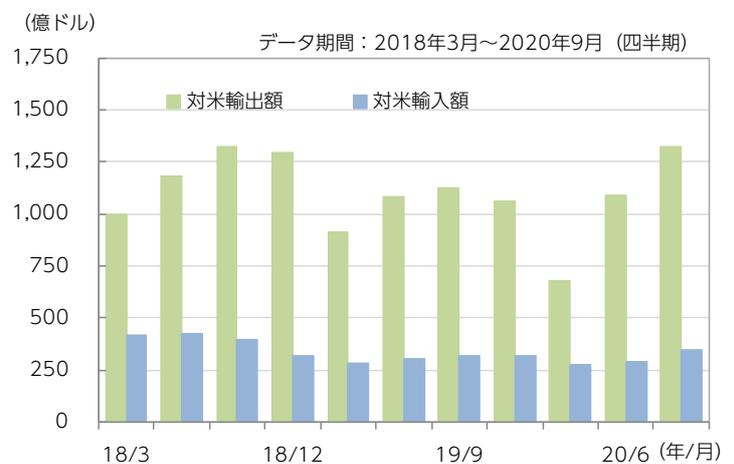
### (3) 対米輸入拡大に向けた中国の動向が注目される

- 中国は2020年1月に署名した米中の貿易交渉を巡る「第一段階」合意で、米国からの輸入額を2017年実績に対し、2020年からの2年間で2,000億ドル（約21兆円）積み増すことを約束しています。しかし、2020年1~9月の輸入額は2017年の同期を2割下回っており、中国の合意実現に向けた取り組みは遅れ気味です。今後、中国が対米輸入を加速させ、対米黒字額の縮小に取り組むのか、その動向が注目されます。
- トランプ政権は10月23日、中国の米農産物の輸入額が236億ドル（約2.5兆円）と、2020年目標額の71%に達したと発表し、中国の「第一段階」合意の履行が順調に進んでいることをアピールしました。8月までの貿易統計に加え、農務省の週次統計等を用いて独自に算出したとしています。経済の回復傾向が鮮明になりつつある中国の対米輸入拡大に向けた今後の動向が注目されます。

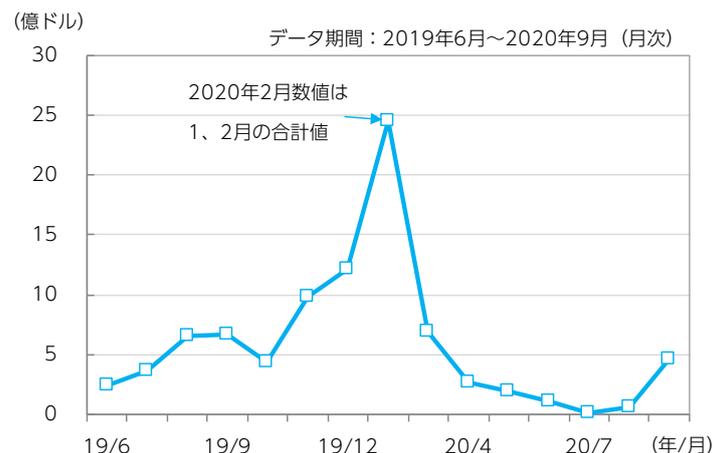
図表1：中国の対米黒字額



図表2：中国の対米輸出入額



図表3：中国の米国からの大豆輸入額



## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>